

H26年度 東大「感染症診断オープンスキルラボ実習」 アンケート集計

実施年月日：平成27年3月5日～平成27年3月6日

参加学生：8人(3月5日：8人，3月6日：6人) *アンケートは6人分

◆麻布大：3人(3年生) ◆日大：3人(4年生：2人，3年生：1人) ◆日獣大：1人(4年生) ◆東大1人(3年生)

1. 参加の動機、きっかけは何ですか？

- ・東京大学の先生の授業を受けてみたかったから。
- ・感染症の診断に関わる機会が少ないので、どのようなことをするのか知ってみたかった。
- ・学内のセミナーにおいて実習担当の先生の講義を聞き、わかりやすかったので興味を持った。BLV が扱われていたため。
- ・卒論テーマが牛白血病で、大学外で知識を得たかったため。リーシュマニアの標本を見たことがなかった。
- ・前回のオープンスキルラボに参加して非常に勉強になったので、東大のものを参加してみたいと思った。
- ・研究室の方から誘われたので。

2. 今回の実習に興味が持てましたか？

1. 興味を持てた …3人
2. どちらかといえば興味を持てた …3人
3. どちらかといえば興味を持てなかった …0人

3. 実習の目的と意義について貴方は理解できましたか？

1. おおよそ(90～100%)理解できた …1人
2. 半分以上は理解できた …4人
3. 半分も理解できなかった …1人

4. 実習の分量についてはどのように感じましたか？

1. どちらかという和多い …2人
2. ちょうど良い …4人
3. どちらかといえば少ない …0人

5. 実習内容の難易度についてはどのように感じましたか？

1. 難しい …1人
2. どちらかといえば難しい …2人
3. ちょうど良い …2人

- 4. どちらかといえば易しい …1人
- 5. 易しい …0人

1または2と回答した方: どういったところが難しかったですか?

- ・現場で習った検査方法の長所・短所がイメージし辛い。
- ・ふだんあまり分子生物学的なところは習わないので、タンパク、遺伝子関連のものが多く、ごちゃ混ぜになった。
- ・実習の目的とそれからわかる解釈(考察)の可能性について。

6. 実習の進め方はいかがでしたか?

- 1. 速い …0人
- 2. どちらかといえば速い …0人
- 3. ちょうど良い …5人
- 4. どちらかといえば遅い …1人
- 5. 遅い …0人

7. 今回、オープンスキルラボとして連携大学での実習を開講したことについて、どのように評価しますか?

- 1. 大いに評価する …4人
- 2. ある程度評価する …2人
- 3. どちらかといえば評価しない …0人
- 4. 全く評価しない …0人

(3または4と回答した方へ: 評価できない理由は何でしょうか?)

8. その他、オープンスキルラボ実習への要望や意見などを自由に記載してください。

- ・楽しかったです。
- ・話し合う時間があまりとれないので、発表課題は1つくらいにしてほしい。
- ・ディスカッションの事前準備時間が欲しかった(調べ、理解が足りず、後々疑問に残った部分があった)。
授業ではあまり教わらない感染制御の観点の話を聞いてよかった。
- ・他大の講義資料やコンテンツなどを積極的に発信してほしいです。
- ・ディスカッションは非常に勉強になった。学生はグループディスカッションする機会が少ないと思うので、ディスカッションを実習に取り入れるのは意義のあることだと思う。ただもう少し、ディスカッションについてお題を与えるなど絞った方が良かったとは思いました。
- ・発表があるのなら話し合う時間が欲しかったです。